

令和6年度第5回茂原市子ども・子育て審議会 会議録

日	時	令和7年2月6日(木)
		13:30~14:55
会	場	茂原市役所 市民室
出席委員		山本副会長、岡本委員、白石委員、志水委員、鈴木委員、佐野委員、 澤田委員、瀬戸委員、河野委員、太田委員、青木委員
関係課		佐久間教育部長、新木教育部次長兼教育総務課長、矢部学校教育課長、 齊藤学校教育課主幹、安藤学校教育課学務係長、岡田生涯学習課長 篠崎保育課長、丸保育課長補佐兼学童保育係長
事務局		中村福祉部長、根本子育て支援課長 荒谷子育て支援課主幹兼こども家庭センター長、関谷子育て支援課長補佐、 沼子育て支援課子育て支援係長、高橋主事、株式会社名豊
傍聴者		2名

配布資料

- ・第3期茂原市子ども・子育て支援事業計画(案)
- ・資料1 「第3期茂原市子ども・子育て支援事業計画(案)」に対するパブリックコメント(意見募集)の結果について
- ・資料2 第3期茂原市子ども・子育て支援事業計画(案)の修正箇所一覧
- ・報告資料1 茂原市子ども・子育て審議会委員(子育て当事者)の公募について

会議次第

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 議 事
第3期茂原市子ども・子育て支援事業計画(案)について
①パブリックコメントの募集結果について
②計画案の修正箇所について
- 4 報 告
茂原市子ども・子育て審議会委員(子育て当事者)の公募について
- 5 そ の 他
- 6 閉 会

会議要旨

(議事)

第3期茂原市子ども・子育て支援事業計画(案)について

①パブリックコメントの募集結果について

<事務局から、資料に基づき説明>

(議長)

ありがとうございました。ただいま事務局からパブリックコメントの募集結果について説明がありました。

委員の皆様から御意見、御質問等ございますか。

【異議なし】

(議長)

よろしいでしょうか。

それでは、次の議事に移ります。

②計画案の修正箇所について

<事務局から、資料に基づき説明>

(議長)

ありがとうございました。ただいま事務局より計画案の修正箇所について御説明がありました。

委員の皆様から御意見、御質問はございますか。

【異議なし】

(議長)

今、①、②と審議してまいりましたが、今日の会議はこの子ども・子育て支援事業計画について総仕上げの時期に入っております。最後となると思いますので、委員の皆様から、全体について、感想でも結構ですので御発言いただけたらと思います。

お願いいたします。

(委員)

全体ということだったので、1つお聞きしたいのですが、茂原市の子育て支援事業は、過去から今までにわたり、続いているものがたくさんあるのだと改めて知ることができました。

私は10年ほど茂原で子育てをしてきましたが、これだけの厚みのある子育て支援事業がいろいろと考えられていることに反して、あまり子育ての支援的な面で茂原に住んでいて恵まれていた、このような支援があつてよかったとあまり身に染みては感じていませんでした。正直、これだけいろいろな市のサポートがあることを知りませんでした。こんな支援があつたのかということがかなり多くありました。

お聞きしたいのは、相談事業がかなりあるのですが、保育者への浸透が十分でないように思います。相談事業などの周知方法を考えていただきたいと思います。

私が知っている限りでは、市役所や保健センターなどの公共施設等での紙媒体による掲示が多いです。私は広報を読むのが好きなので、郵便局に取りにいき毎回読んでおり、

そのようなところにも相談事業の告知や周知をする記載はあります。

それ以外のもっと現代的な携帯、インターネット媒体で知るようなきっかけはないのでしょうか。紙媒体以外のもので、子育て支援事業や相談事業といったものを知る方法は、市役所のほうから何かアプローチをされているのですか。

全体で見ても、こんなサポートを茂原でやっているということが、あまり浸透していないですし、知られていないのもったいないです。現時点でどのように行われているのか知りたいと思いました。

(議長)

ありがとうございました。事務局、いかがですか。

(事務局)

御意見ありがとうございます。今回、この計画を策定するにあたり、事前にアンケートを取らせていただきました。その中で、委員がおっしゃられたように、子育て当事者の方からは、やはり知らない事業が多い、また、実感できていない部分があるという御意見を多々いただいております。

こちらからの伝え方が下手な部分があり、実感されていないというところを今回、改めて私たちも知ることができました。現在は紙媒体が中心であるというのは事実です。ウェブサイト等の電子媒体はあるのですが、こちらも見づらいという状況でございます。

今は皆さんが携帯電話をお持ちになられていて、すぐに検索でき、見たいものが見られるというよう状況です。特に子育て世帯の若い方には一番見ていただきやすいものではないかと思っております。

ただ、予算の関係もあるところで、今すぐにはお約束はできないのですが、電子媒体を活用していきたいとは考えております。今、Xやインスタグラムなど、いろいろな媒体を使い情報発信をし始めております。個々の媒体の特性をうまく使い、効果的に発信できたらと思います。

今後の流れとしては、例えば、母子手帳の電子化などがあるかと思っております。そういったところで通知ができると、より得たい人に得たい情報を届けることができるのではないかと考えております。

今後も皆さんの御意見をお伺いしながら少しずつ進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(議長)

ありがとうございます。他にいかがですか。

(委員)

同様な意見ですが、実際にあった御意見として、つい最近、保育園の入所が決まったかと思えます。保育園が決まった方から、近所の保育園しか利用できないと思っていたとか、ファミリー・サポート・センター事業があることを知らなかったというリアルな御意見がありました。

考えてみますと、自発的に情報を探しにいく人にしか届いていないのではないのでしょうか。

例えば、何歳児健診などの機会に保育園のことやファミリー・サポート・センター事業のことなどについて、パンフレットを置いていると思うのですが、自分から手を伸ば

さないと受け取れない情報ではなく、子どものことで出向いたときに、そこで耳から受け取れる情報があると、より多くの人にこの茂原市の素晴らしい施策が隔々まで行き渡るのではないかと思います。

つい一昨日、保育所の話を頂戴しまして、「そんなことはないですよ、市にも聞いてみてください。」というアドバイスをしました。情報の広め方の方法を市役所の皆さんと一緒に考えていければと思っております。

(議長)

ありがとうございました。御意見について、事務局から何かございますか。

(事務局)

ありがとうございます。

幼児健診などは待ち時間がございますので、その中でできることもあるかと思います。過去には実施していた経緯もありますが、やらなければならないことも変わってきた中で、今は実施していないものもあると思います。このことについては、使える時間や使える方法について、再度、検討させていただき、より伝えていけることの量を増やしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(議長)

ありがとうございました。他の委員さん、いかがでしょうか。

(委員)

先ほどこからお話されている情報の伝わり方というところで、私たちは児童虐待に主に対応しているので、母子手帳を取りにいかないお母さんや、妊婦健診を受けにいかないお母さん、生まれた後も訪問を受け入れなかったり、健診に連れていかないお母さんもいらっしゃる。その御家庭をどのように拾っていったらいいのか、その方たちをこちらから見つけて、こちらから手を差し伸べる方法は何かないかといつも感じます。

母子手帳を受け取りにきてくださるお母さんとは 100%面接をしていただき、情報提供をしている状況かと思うのですが、私たちもまだ、良い方法が見つかっていません。

先ほどおっしゃっていたような、自分から情報に手を伸ばせない、支援に手を伸ばせない御家庭にアプローチする方法を今後も一緒に考えていきたいと思います。ありがとうございました。

(議長)

ありがとうございました。事務局から何かございますか。

(事務局)

貴重な御意見ありがとうございます。

私たち母子保健を担当しているものとして、望まない妊娠をされたり、母子手帳を取りにいきたくないけれど、いけないという方たちが、誰にも知られず出産をして、お子さんを亡くすという事件がまだまだ続いている中で、どのようなことができるのかと日々悩んでいるところであります。

困難な問題を抱える女性の法律ができたことで、千葉県も力を入れてくださっているようで、経済的な問題を抱えていたり、家族等から支援が得られなくて住む場所を失っ

ている方が身を寄せられる、場所になるシェルターのようなものを民間の力を借りて広げていると伺っています。その中で、望まない妊娠をされた方が、そちらに身を寄せることで支援につながるという可能性もあると考えております。

御意見を伺って、そのような場所があるということの情報発信をしていなかったことに気づかされたもので、発信していきたいと考えております。

(議長)

ありがとうございました。お願いいたします。

(委員)

決して茂原は子育てしにくい場所ではないと思います。

私が関わっているお母さん方からお話を聞くと、公園もありますし、福祉センターでのイベント、支援センターもありますし、悪いところはないのだけれど、「特別ここが子育てに関してすごく良いというところもない」という声が聞かれます。

先ほどもおっしゃいましたが、SOS が出せたり情報収集ができたりする方には、このようないろいろな計画で事業があることを知っているかもしれないのですが、なかなかそのような恩恵を感じられないというのが意見の中の1つなのだろうかと考えています。

しかし、私が子育てをしてきた頃よりは確実に子育てしやすい町になってきていると思います。支援が必要な人に対しての事業も誠意を持って対応していらっしゃる市役所の方たちを見ているので、そういう人たちに対してはとても支援が充実していきいていると思っております。

前回、保育所の申し込みの内定の時期をもう少し早くをお願いをしました。いつも1月末にくるのが、今回は1月の第2週くらいに内定通知が届いたということで、お母さん方から「今回はとても早かった」という声を聞きました。早く届いたことで、内定がもらえなかったとしても、その後にこれからどうするかを職場や家族と相談できる時期を設けられたということで感謝している声を聞きました。内定通知の時期が早かったということは、他の事業をやりながらも、その事業を早く進めていただいたということだと思います。そういったことはお母さん方にはわからないとは思いますが、感謝の声はなかなか届かないと思うので、代表してお礼を申し上げます。ありがとうございました。

このようにちょっとした改革があったときには、必ず喜んでくれているお母さん方がいらっしゃると思います。これからも少しずつで構いませんので、茂原市で子育てしていきよかったといえるような町、子育てしやすい町にしていただけるとよいと思っております。このような場に参加できてよかったです。ありがとうございました。

(議長)

ありがとうございました。事務局からいかがでしょうか。

(事務局)

保護者の声を聞かせていただきまして、ありがとうございます。

なかなかそういった声は聞くことができませんので、そういう声があるということがわかりました。

今回の通知ですが、前回、御意見をいただきましたので、いつもより少し早くできたと思っております。この周辺でいうと、今までも茂原市が一番早くに通知を出している状況です。

今は二次調整をしております、一次で保留になってしまった方等の調整をしております。それがまとまりつつあるところで、何とか皆さんが入れるように調整をしております。今後も保護者の声を聞きながらやっていきたいと思っております。ありがとうございます。

(議長)

ありがとうございました。お願いいたします。

(委員)

知的や身体などの障害、もしくは病気をお持ちのお子さん、保護者の方へのサポートやそういった方への偏見や差別をなくすような啓発の取り組みがあれば教えていただきたいと思います。

(議長)

事務局からお願いいたします。

(事務局)

障害をお持ちのお子さんにつきまして、保育所の入所に関しては、入所の際に面談等でお子さんの特性等を伺いながら、加配が必要かどうかなど考慮させていただいているかと思います。

(事務局)

保育所の入所に関しては、特に障害ということで入所をお断りするということはしておりません。

加配をつけなければいけないことがあると、どうしても職員の配置ができないと、希望された園ではないところに通園していただくことがございます。なるべく入所したいところにいけるような方向で取り組みしているところでございます。

(議長)

ありがとうございました。続いて、いかがでしょうか。

(委員)

先ほどの意見と同じなのですが、茂原市は子育て支援がこんなに手厚いのだなということをこの審議会に参加しまして改めて思いました。

私たちの目の前には大切な保護者の方と大切な子どもがいますので、何かあったときには、こんなに手厚い支援や制度があるという情報をお知らせしたいと思います。

障害がある方が入園を希望したときに、保育士が足りないということで受け止められないこともあります。心配な子どもをお預かりした時、臨床心理士の方に相談しています。茂原市の子育て相談は本当に充実していると私自身は思っております。親身に相談に乗ってくれるということは前から私たちは気づいております。子育て支援課の方や臨床心理士の方にずっとお世話になっております。

臨床心理士の先生が、「お母さん、こんなふうにしたらよいですよ。子育て相談してよかった、よいアドバイスをもらった、じゃあやっぱり療育を受けようか」とか、茂原市の子育て支援課と臨床心理士、保健師の方たちに、いつもずっと助けられて、健全に育

つ手助けをしていただいています。

計画案の 37 ページを見るとこんなにすごいんだなと思いますが、簡単に利用できないような状態になっているのではないかと、気づかないこともあるのではないかと思います。

保護者の方が声を上げてくれたら相談に乗れるのですが、お母さん自身が困ったときにすぐにわかるようなものがあればよいと思います。

皆さん、こんなに労力を使って頑張ってくださっているということで、市役所の方々、それからアンケートに協力してくれた保護者の皆様にも感謝で頭が下がります。2 年間、参加させていただいて、皆さんの意見を聞いて、本当に勉強になりました。ありがとうございました。

(議長)

ありがとうございました。事務局から何かありますか。

(事務局)

今後も相談体制については、人の確保に努めて、いろいろな相談が多いので、そういうところに対応できるようにしていきたいと思います。

(議長)

ありがとうございました。お願いいたします。

(委員)

私も皆さんと同じように、このような素晴らしい事業内容があるので、例えばウェブページの「子ども・子育て支援課」をクリックするとこのような事業があるということが出てくるシステムになればよいと思います。

今の若い方はわからないことがあるとすぐにスマホで調べますし、私も実際に茂原のいろいろな事業に関してはウェブページ等を見たりしています。そういうところで情報が得られれば広がっていくのではないかと思います。

また、前回の会議のときにもお話をさせていただいたのですが、今年の暮れにインフルエンザ等の発生があり、学校が休校となったときに、やはり保護者の皆さんは会社を休んだりしなければいけません。

病児保育事業は白子町に 1 件しかありません。人が足りないということも十分承知しているのですが、声を上げていけばいつか必ずどうにかなると思います。私も中小企業を守る環境にいる立場でございますので、やはりそういったことは意見していきたいと思います。大変だとは思いますが、よろしくお願いいたします。

(議長)

ありがとうございました。事務局、何かございましたらお願いいたします。

(事務局)

やはり情報の発信の仕方の難しさを痛感しているところです。

ウェブページは今、見づらいところがありますので、こちらは改善していきたいと考えております。

(事務局)

病児保育についてですが、今は1つだけです。いろいろと課題はあるのですが、引き続き検討していきます。

(議長)

ありがとうございました。お願いいたします。

(委員)

感想だけ述べさせていただきます。茂原市では、私も親の立場に立って細やかな支援をしているとつくづく感じました。

学校現場については、子どもが遅刻や無断欠席をしたり、体調が悪いのに学校に来たりしたときに親に連絡することがあります。そういったことで、学校が親に対してもっと頑張ってほしいなど見方をすることが大変多いです。けれど、この審議会の内容を見ると、それを支援する立場で親に対応しているということで、私たちももう少し勉強しなければいけないと思いました。

ただし、学校から家庭に支援を行おうとすると、保護者はうちの家庭は下に見られているのではないかなど、嫌な思いをさせてしまう恐れもあります。今後ですが、子どもの教育相談や、また、親から連絡があったときには相談機関を伝えるなど、そのような方法で支援していけたらと思います。大変勉強になりました。ありがとうございました。

(議長)

ありがとうございました。事務局からは何かございませんか。
よろしいでしょうか。それでは、お願いいたします。

(委員)

先ほど、母子手帳をもらえない、片親など、いろいろな問題についてお話がありました。自分たちが子どもを育てていた時代と違うのだと思います。

自分たちが育てた時代は、地域の中、みんなで支え合ってやってきました。今は、隣の人に知られたくないとか、あまり家庭の中まで入り込んでもらいたくないという方が結構多いです。小学校、中学校、高校生の子どものを持っている母親が、本当に茂原にいてよかったというようにいろいろな情報を発信して、同時にそれを理解してもらって納得してもらい、少しでも改善してあげられるような、女性にもっと優しい茂原市になってもらいたいというのが希望です。

母親は子どもたちのことですごく苦労されています。人に言えないようなことや、いろいろな悩みを持っていると思います。そのような悩みのある人たちにいろいろな情報を収集してもらい、それで解決していただければと思います。

同時に、この審議会でも、SNSなどでいろいろな支援の状況を発信したりしていただきたいです。皆さん、スマホは必ず見るので、そのようなことは大切ではないかと思います。

思い悩んで、お母様が暗い表情になるのが、一番家庭の中ではいけないことだと思います。1人で悩んでいる人もいますし、家庭を持ってもご主人が協力してくれないという人もいらっしゃると思います。子どもを持っているお母さんたちが、笑顔で子どもたちに接してあげられる、そして悩みを汲んであげるということは、方向性としてはよいのではないかと思います。いろいろとお話を聞くと、思い悩んだ状況を聞きますから、1人でもその人たちの胸のもやもやを汲んであげられたらよいと思いますし、母親は子

どもにとっては一番必要で、自分に関わる大切な人ですので、そこを理解していただいて、茂原市子ども・子育て審議会の中でそのような発信をしていただければと思います。

なかなかよい表現はできませんが、まずお母さんたちを明るくしてあげることが大切かと思います。よろしくお願いいたします。

(議長)

ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

(委員)

今日このような事業計画を見させていただきまして改めて、手厚い事業がたくさんあると感じています。

先ほどから情報発信というお話が出ておりますが、普段、私が中学校の教員をしていて思うところとしては、本当に困っている方は自分から情報を集めにきますのでよいのですが、難しいのは、明らかに一般的に考えたらこれは困っている状況だということにも関わらず、その保護者が困っている感を出していないということです。

情報発信はもちろん茂原市の市役所の方々が中心となって進めていってもらおうとは思いますが、子育て審議会の方にはいろいろな立場の方が参加しているので、いろいろな周知の仕方を御存じの方もいるのではないかと思います。

市役所の方だけではなく、ここにいらっしゃる皆さんで協力して、情報を収集するのが難しい方にどうしたら情報を伝えられるかということを考えていくことも、今後の課題なのではないかと思います。感想にはなりますが、以上です。

(議長)

ありがとうございました。各専門分野から本当に貴重なお話が聞けたと思います。最後に大変お世話になりました、名豊さんから何かございますか。

(名豊)

まずは皆様、5回にわたり貴重な御意見をいただきましてありがとうございました。

なるべく市民の方に手に取って見やすいような表紙であったり、また、今回、子ども向けに概要版という形も準備しておりますので、見やすいものを皆さんに配れるようにさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(議長)

ありがとうございました。事務局から何かございます。

(事務局)

先ほど委員から、医療的ケア児や障害のあるお子さんの差別の関係、配慮のことで御質問があったと思います。これについて追加でお話させていただきます。

医療的なケアが必要なお子さんが、まだ生まれて間もないお子さんであると、まず病院のほうから保健センターの母子保健の担当のほうに連絡がきます。今は、子ども医療が充実したということで、小児慢性特定疾患の申請はせずに退院されていることが多くあります。

酸素吸入や人工呼吸器、たんの吸引のための機器をつけて退院される場合、大きな災害が起きたときに電源を断ってしまうと命が危険に晒されるということがあります。今

までは保健所で東京電力さんや、大きな病院な病院にかかっていることが多いので、災害時にできるだけ親御さんが運べるような病院のほうに協力していただくなど、そのような体制づくりを市のほうで行っています。また、障がいのあるお子さんが集団健診にくるときに、待っているのが難しいといったこともありますので、順番を超えて早めに終わるよう配慮したりしています。以上です。

(議長)

ありがとうございました。皆様、他にございますか。お願いいたします。

(委員)

本当に申し訳ないのですが、この子育て支援事業に関係ないことで意見があります。学校教育課の方に1つ伝えたいことがあります。

小学校の水泳大会がなくなり、今は陸上大会や体操記録会に子どもが参加しています。茂原市は子どもの減少がかなり進んでいたり、コロナもありましたし、教員の働き方改革について保護者に説明があり、いろいろな理由で今後、市のほうで大会や記録会というのがなくなっていくという話が、保護者間で広がっています。

現に小学校では部活動のミニバスやサッカーがなくなりました。中学校も再来年度には完全に地域移行すると聞いています。地域移行が叶わなければ部活動自体が消滅するというので、現時点でも中学校によるとは思うのですが部活がなくなっています。そのような現状で小学校の体操記録会や陸上大会までなくなってしまうとなると、子どもたちの活躍の場や成長の場というのが消えてしまうということで、保護者としては不安に思っております。喪失感もあります。

子どもたちの向上心や競争心を育んだり、達成感を得たり、そのようなかなり大きな機会の場だと思えます。うちの子どもは頭を使うより体を使うほうが得意なので、4年生から参加させていただいています。その練習期間はすごく生き生きと頑張っていました。

ただ、保護者から見ても、教員の方々の放課後や休日の練習時間などの負担は理解できます。全てがなくなってしまうというのは保護者としてはつらいです。

25年前の話になってしまいましたが、ミニバスの学校対抗の大会に参加して、水泳大会に参加して、陸上大会に参加してということで、今思えば今の子どもたちより充実した学校生活を送っていたと思います。

学校自体の参加、不参加の判断はあると思うのですが、市自体で行っている大会がなくなってしまうのは、子どもたちにとってはマイナスと感じます。今後の児童数の減少や教員の方々の働き方改革ということはわかるのですが、できる限り、今後もずっとあってほしいと思います。個人的な思いなのですが、お伝えしたかったので、この場を借りてお話をさせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

御意見ありがとうございます。

今のお話ですと2つにわかれていて、1つは中学校の部活動の地域移行について、もう1つは小学校の部活動についてということだと思います。

まず初めに中学年の部活の地域移行についてですが、おっしゃっていただいたことが大方です。中学校の部活動につきましては、平日の部活は現段階ではそのまま継続して今後もやっていきます。休日の部活動については地域の受け皿をつくっていく、もしくは地域の受け皿に子どもたちがどんどんエントリーしていくという形で進んでいる状況

です。

また、小学校の部活動ですが、実は、小学校の部活動や中学校の部活動は、教育委員会がコントロールするものではなく、小学校、中学校体育連盟というもので行っております。全国の体育連盟、県の体育連盟、長生郡市の体育連盟、茂原市の体育連盟というものがあります。それぞれその地域に組織がありまして、その組織ごとに学校の先生方の働き方等について話し合われた中で、時代に応じて徐々になくなってきているという現状です。

茂原市の陸上大会や水泳大会、体操など、様々ありました。文化系では、音楽発表会もありましたが、郡の大会がなくなってしまったために、茂原市の大会も結局は社会の波にのまれながら少しずつ減っています。球技が一切なくなってしまったので、現在、行われているのは陸上大会と体操だけです。そちらについても小中学校体育連盟という組織が運営しているので、その組織の中で話し合いがされている状況でございます。

私自身も部活動というのは、諸外国と比べても昔から日本だけがやっている非常に大きな文化だと思います。諸外国では部活動という形ではなく、もともと地域でスポーツクラブとして行われています。ですから、部活動については大きな価値があると思いますし、運動はそれを強くするとか、うまくするというだけでなく、生徒指導的な役割も非常に大きな役割を持っていたのではないかと思います。

その面で、私自身も部活動については大切なものだと感じています。ただ、先ほど言いましたように、別の組織が運営をしていますので、そういう部分も見守っていくことが大切だと思います。保護者の方からもその組織に向かってはなかなか意見を伝えることはできないと思いますが、学校に向けて「とても大切なものです」ということはお伝えできるのではないかと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

(議長)

ありがとうございました。他に何か御意見はありますでしょうか。

それでは、以上をもちまして議事を終了し、議長の任を解かせていただきます。本日の議事2点につきましては、皆様の御協力によりすべて終了することができました。ありがとうございました。

(事務局)

議長におかれましては、円滑な議事進行をありがとうございました。また、委員の皆様には熱心な御審議をいただきまして、併せてお礼申し上げます。ありがとうございました。

(報告)

茂原市子ども・子育て支援議会委員（子育て当事者）の公募について
＜事務局から、資料に基づき説明＞

【質疑応答なし】

(事務局)

次に「5 その他」でございますが、皆さまから何かございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

そうしましたら、事務局から今後の予定等について連絡させていただきます。

本日、御審議いただいたパブリックコメントに対する市の考え方につきましては、2月中旬に市ウェブサイト等で公表する予定です。計画策定につきましては、今後、県との協議、市長決裁を経た後、3月下旬に策定となります。

また、今年度の審議会は、本日を持ちまして全日程が終了となります。

次回は、来年6月を予定しておりますが、先ほど、御説明させていただいたとおり、任期満了に伴う改選の年でもあります。

団体から推薦いただいている委員につきましては、先月、推薦書を送付させていただきましたので、よろしくお願いいたします。

再任される委員の皆様におかれましては、次年度以降もよろしくお願い申し上げます。改選となる委員の皆様におかれましては、長きにわたり委員をお引き受けいただきまして誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和6年度第5回茂原市子ども・子育て審議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。